

調査対象施設一覧表（2019年度）

※「調査対象施設一覧表(2014年度)」を参考の上、閉館した施設の削除や新規施設の追加、指定管理者が変更になった場合など、最新情報に更新してください。
 ※記入にあたっては別紙「回答記入例および各項目の説明・選択肢」を参照してください。

整理番号	①施設正式名称 (下枠は愛称)	②施設所管部署名	③施設タイプ (いずれかに○)	④施設内容 ※4.練習場・創作工房は アーティスト・イン・レジデ ンス施設を含む	※別紙数字記入 ⑤複合内容	※別紙数字記入 ⑥民間資金活用 PPP/PFI等は✓を記入	※別紙数字記入 ⑦大規模改修予定	⑧管理運営形態 (いずれかに○)	*指定管理者のみご回答ください。				調査票回収状況欄
									⑨指定管理者名	※別紙数字記入 ⑩指定管理団体種別	※設置者が出捐等した 団体の場合は✓を記入 ⑪設置団体との関係	⑫指定管理期間 (西暦)	

団体名

全国地方公共団体コード(5桁)

			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月	
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月	
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月	
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月	
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月	

			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月
			単独 複合	1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房				1. 指定管理(公募) 2. 指定管理(非公募) 3. 指定管理(PFI事業者等) 4. 直営		⑩その他(具体的に)	20 年 月 20 年 月

別紙 調査対象施設一覧表 回答記入例および各項目の説明・選択肢

※整理番号は新たに1から順に振ってください。
「調査対象施設一覧表(2014年度)」に合わせる必要はありません。

整理番号	①施設正式名称 (下枠は愛称)	②施設所管部署名	③施設タイプ (いずれか○)	④施設内容 ※4.練習場・創作工房は アーティスト・イン・レジデ ンス施設を含む	※⑤複合施設 ※別紙数字記入	⑥民間資金活用 ※PPP/PFI等は✓を記入 ※別紙数字記入	⑦大規模改修予定 ※別紙数字記入	⑧管理運営形態 (いずれかに○)	*指定管理者のみご回答ください。 ⑨指定管理者名	⑩指定管理期間 (西暦)	⑪設置主体との関係 ※設置者が出捐等した 団体の場合は✓を記入 ※別紙数字記入	⑫指定管理期間 (西暦)	調査票回収状況欄
団体名 〇〇市 全国地方公共団体コード(5桁) 12345													
1	〇〇市文化会館		☒ 単独 ☐ 複合	☒ 1. 専用ホール ☐ 2. その他ホール ☐ 3. 美術館 ☐ 4. 練習場・創作工房			3	☐ 1. 指定管理(公募) ☒ 2. 指定管理(非公募) ☐ 3. 指定管理(PFI事業者等) ☐ 4. 直営	(公財)〇〇市芸術文化振興財団	☒ 2017年4月 ☐ 2021年3月	☒ ⑪その他(風情的に)		☒
2	〇〇市文化センター		☐ 単独 ☒ 複合	☒ 1. 専用ホール ☒ 2. その他ホール ☐ 3. 美術館 ☐ 4. 練習場・創作工房	2		2	☐ 1. 指定管理(公募) ☐ 2. 指定管理(非公募) ☐ 3. 指定管理(PFI事業者等) ☒ 4. 直営		☐ 20 年 月 ☐ 20 年 月	☐ ⑪その他(風情的に)		☒
3	〇〇市立美術館		☒ 単独 ☐ 複合	☐ 1. 専用ホール ☐ 2. その他ホール			2	☐ 1. 指定管理(公募) ☐ 2. 指定管理(非公募)		☐ 20 年 月	☐ ⑪その他(風情的に)		☒

※「調査回収状況」欄は、各施設の調査票の回収状況にご活用いただく欄です。

①施設正式名称 愛称がある場合は下枠内に記載してください。

②施設所管部署名 正式名称をご記入ください。

③施設タイプ 単独施設、複合施設のいずれかをお選びください。

※ここで言う複合施設とは、館の事業目的を達成するために設けられた中心施設が複数ある施設。
ただし民間施設(商業施設、オフィス、住居等)との合築は「複合施設」に含まず、単独施設とする。

④施設内容 施設内容を本調査対象の次の4種からお選びください。複合施設に該当する場合には、すべてに✓を入れてください。施設内容の定義については、「調査の手引き」の「A: 調査対象施設一覧表について」をご覧ください。

1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館
4. 練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設を含む)

⑤複合施設内容 複合施設の場合、どのような施設との合築かを以下からお選びください。

1. 博物館、資料館等 2. 図書館 3. 公民館、コミュニティセンター、地区センター
4. 生涯学習センター 5. 障害者・高齢者福祉施設 6. 子育て施設 7. 宿泊施設
8. 体育館、アリーナ、スポーツセンター
9. メッセ・展示場、国際会場、コンベンションセンター、その他観光施設
10. 庁舎 11. 公営住宅 12. 公営の商業・飲食施設、オフィス等 13. その他

⑥民間資金活用 PPP/PFI方式で建設、もしくは大規模改修した施設は✓を入れてください。

⑦大規模改修予定 以下の選択肢の中から当てはまる番号を1つお選びください。

1. 2014年～2018年に大規模改修を行った
2. 2019年～2023年に大規模改修を行う(行う予定である)
3. 大規模改修はこの期間には行わない

⑧管理運営形態 直営／指定管理の別です。選択肢の中から当てはまる管理運営形態の種別をお選びください。

※直営の場合は、ここで回答は終了です。

⑨指定管理者名 正式名称をご記入ください。

⑩団体種別 指定管理者の団体種別を次の中から1つお選びください。「12.その他」の場合は、具体的にご記入ください。

1. 公共団体・公共的団体 2. 公益財団法人 3. 一般財団法人 4. 公益社団法人
5. 一般社団法人 6. NPO法人 7. 株式会社、有限会社など(営利法人) 8. 任意団体
9. 共同事業体(JV)等のコンソーシアム 10. 有限責任事業組合(LLP)
11. 学校法人(国立大学法人や公立大学法人を含む) 12. その他

⑪設置主体との関係 指定管理者(コンソーシアムの場合は構成団体)が、設置者が出捐等をした団体の場合は✓を入れてください。

⑫指定管理期間 西暦の年月をご記入ください。

2019年度 地域の公立文化施設実態調査

地方公共団体 調査票

すべての団体の方にご記入いただきます。

〔この調査について〕

1. 本調査は、貴団体の文化政策についてお伺いするものです。
2. 特に断りのない限り、設問にはすべて、2019年9月1日現在の状況をおこたえください。
3. 設問は、記入欄に文字や数字を記入していただくほか、当てはまる選択肢の番号に○をつけるものもあります。「○はひとつだけ」「あてはまるものすべて」「年号は西暦で」等、設問ごとの注意事項に従ってご記入ください。

A. まず、貴団体について、以下の項目をご記入ください。

全国地方公共団体コード(5桁) (別紙「調査対象施設一覧」に記載)						団体名	
本調査ご担当部署名							
回答ご担当者氏名							
連絡先電話番号、FAX番号	TEL:			FAX:			
連絡先メールアドレス	@						

Q1. 文化政策等の現状について伺います。

(1) 貴団体では、文化振興に関する条例(文化振興条例等)を策定していますか。(○はひとつだけ)

1. 策定済みである →

(策定している団体へ)
名称をおこたえください。

2. 策定していない

↳ SQ1. 今後策定の予定はありますか。(○はひとつだけ)

1. 現在策定に向けて作業中である
2. 策定に向けた検討はしているが、具体作業には入っていない
3. 今現在策定の予定はない
4. その他〔具体的に: _____〕

(2) 貴団体では、文化振興や推進に関するビジョンや基本計画等を策定していますか。(○はひとつだけ)

1. 策定済みである →

(策定している団体へ)
名称をおこたえください。

2. 策定していない

↳ SQ1. 今後策定の予定はありますか。(○はひとつだけ)

1. 現在策定に向けて作業中である
2. 策定に向けた検討はしているが、具体作業には入っていない
3. 今現在策定の予定はない
4. その他〔具体的に: _____〕

(3) 「文化芸術基本法」「障害者の文化芸術活動の推進に関する法律」等、文化に関する法律が新たに制定されました。これらについて伺います。

(3)ー1 2017年に施行された文化芸術基本法では、文化芸術そのものの振興だけでなく、文化に関する行政分野との連携強化を行うことが求められるようになりました(※)。貴団体では、こうした他の分野との連携強化を行っていますか。(○はひとつだけ)

1. 行っている

↳ SQ1. 連携強化のために設立した組織や会議体がありますか。(○はひとつだけ)

1. ある
2. ない

↓ 名称や連携先等をおこたえください。

--

2. まだ行っていないが、具体的な計画はある
3. 具体的な計画までにはなっていないが、意向・方針はある
4. 行っていないし、今のところ計画や方針・意向もない

※文化芸術基本法 第2条 第10項(新設)

文化芸術に関する施策の推進に当たっては～(中略)～観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各関連分野における施策との有機的な連携が図られるよう配慮されなければならない。

→ SQ2. (1～3を回答した方に)どの分野との連携強化を行っていますか。計画中、意向があるものを含めておこたえください。(あてはまるものすべて)

1. 観光
2. まちづくり
3. 国際交流、多文化共生
4. 福祉
5. 教育
6. 産業
7. その他

↳ (具体的に)

--

(3)ー2 2018年に施行された「障害者の文化芸術活動の推進に関する法律」では、各地方公共団体において、障害者の文化芸術活動の推進についての基本計画を定めることになっています(努力義務)。

貴団体における、この基本計画の策定への取組状況についてお伺いします。(〇はひとつだけ)

1. 策定済みである(文化芸術推進計画等の一部としての策定を含む)
2. 策定に向けて作業中である
3. 策定の検討はしているが、具体作業には入っていない
4. 今のところ策定の予定はない

(4) 貴団体では、文化施設について公共施設等総合管理計画の個別計画を策定していますか。(〇はひとつだけ)

1. 策定している
2. 策定していない



策定している場合は下記におこたえください。

SQ1. 個別計画の指針で該当するものがあればおこたえください。(あてはまるものすべて)

1. 同種の文化施設の集約化(ホールとホール、美術館と美術館等)
2. 異なる分野の文化施設や文化施設以外との複合化(ホールと美術館、図書館と美術館等)
3. 文化施設から他用途施設への転用
4. 施設の廃止
5. 施設の売却
6. 上記の中に該当するものはない

(5) 貴団体が出捐した文化及び芸術の振興を目的とする公益財団法人、一般財団法人がありますか。(〇はひとつだけ)

1. ある
2. ない



ある場合は、そのすべての名称を記入し、活動内容および事業内容としてあてはまる番号を選択してください。

名称		活動内容	1. 文化施設管理主体 2. 文化施設管理と文化事業実施の両方 3. 文化事業実施主体
		事業領域	1. 文化 2. スポーツ 3. 生涯学習・社会教育 4. 青少年 5. 観光 6. まちづくり、市民活動支援 7. その他〔 〕
名称		活動内容	1. 文化施設管理主体 2. 文化施設管理と文化事業実施の両方 3. 文化事業実施主体
		事業領域	1. 文化 2. スポーツ 3. 生涯学習・社会教育 4. 青少年 5. 観光 6. まちづくり、市民活動支援 7. その他〔 〕
名称		活動内容	1. 文化施設管理主体 2. 文化施設管理と文化事業実施の両方 3. 文化事業実施主体
		事業領域	1. 文化 2. スポーツ 3. 生涯学習・社会教育 4. 青少年 5. 観光 6. まちづくり、市民活動支援 7. その他〔 〕

※4つ以上の法人がある場合は、お手数ですが、別紙に記入して添付をお願いします。

(6) 貴団体には、文化及び芸術の振興に関わる基金がありますか。(○はひとつだけ)

1. ある

2. ない

ある場合は、そのすべての名称を記入し、基金残高(2018年度決算)をご記入ください。
また、基金を利用した美術品・文化財購入の有無をおこたえください。

名称		基本財産額 []千円
		基金を使った美術品・文化財購入の有無 1. 有 2. 無
名称		基本財産額 []千円
		基金を使った美術品・文化財購入の有無 1. 有 2. 無
名称		基本財産額 []千円
		基金を使った美術品・文化財購入の有無 1. 有 2. 無

※4つ以上の基金がある場合は、お手数ですが、別紙に記入して添付をお願いします。

(7) 貴団体には、現在、文化施設の建設計画がありますか。遊休施設活用も含みます。(○はひとつだけ)

1. 計画がある

2. 計画がない

「計画がある」場合は、その施設についておこたえください。

PFI/PPPでの施設建設・運営を検討している場合は、右欄にチェックをしてください。

	施設名(仮称でも結構です)	施設のタイプ	開館予定年度	チェック
1		1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房 5. それらを含む「複合施設」	西暦 年度	
2		1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房 5. それらを含む「複合施設」	西暦 年度	
3		1. 専用ホール 2. その他ホール 3. 美術館 4. 練習場・創作工房 5. それらを含む「複合施設」	西暦 年度	

※アーティスト・イン・レジデンス施設は「4.練習場・創作工房」に含めてください。

※4つ以上の計画がある場合は、お手数ですが、別紙に記入して添付をお願いします。

(8) 貴団体には、大規模改修を現在実施中もしくは数年以内に改修実施が計画されている施設がありますか。

(○はひとつだけ)

1. 現在改修中、改修計画の施設がある

2. 改修予定の施設はない

「現在改修中、改修計画の施設がある」場合は、その施設についておこたえください。

PFI/PPPでの施設改修を検討している場合は、右欄にチェックをしてください。

	施設名	チェック
1		
2		
3		

※4つ以上の施設がある場合は、お手数ですが、別紙に記入して添付をお願いします。

(9) 貴団体が主催として参画し、地域で展開するアート・プロジェクトがありますか。(○はひとつだけ)
(文化施設を活用していないものも含みます)

1. 現在実施している →	(実施していると回答した団体へ) 名称をおこたえください。
2. 実施していないが計画はある	
3. 今のところ実施中の事業や実施計画はない	

(10) 貴団体では、アーティスト・イン・レジデンス事業を行っていますか。(○はひとつだけ)
(文化施設を活用していないものも含みます)

1. 現在実施している →	(実施していると回答した団体へ)事業名や実施施設名等、具体内容をお知らせください。
2. 実施していないが計画はある	
3. 今のところ実施中の事業や実施計画はない	

(11) 貴団体の2018年度決算における文化・芸術経費をお知らせください。 ない場合はゼロと記入してください。

①文化・芸術事業費	(文化・芸術関連事業に係る経費、文化・芸術団体等に対する補助及び委託経費(実行委員会等への補助を含む)、都道府県の場合は市町村への文化施設建設補助以外の補助など)	千円
②文化施設経費	(維持管理費、修繕費、委託費など。文化施設で実施する自主文化事業費は、上記①に計上する)	千円
③文化施設建設費	(準備・設計・土地購入費なども含む)	千円

(12) 文化政策を推進するにあたって不足している点や課題をお聞かせください。(あてはまるものすべて)

1. 文化政策の基本的な方針やアクションプラン	11. 文化施設
2. 文化政策を実現するための人材・組織・体制	12. 評価システム
3. 文化政策の重要性に関する自治体内部の理解	13. 職員の研修機会
4. 文化を通じたまちづくりに関する情報や知識	14. 他自治体の文化政策担当部署との交流の機会
5. 福祉・教育・観光・産業・国際交流・多文化共生等文化以外の行政分野との連携	15. 文化と他の行政分野や地域の住民・団体・機関等を結ぶコーディネーターの育成
6. 障がい者対応、障がい者文化芸術振興のあり方	16. その他
7. 文化財活用のあり方	(具体的に)
8. 茶華道・香道・書道・食文化等の生活文化の振興	
9. 助成金・補助金を獲得するノウハウ	
10. クラウドファンディングのノウハウ	

17. 不足している点や課題はない

Q2. 民間活力等の導入について伺います。

(1) 今後、文化施設の設置、大規模改修、運営等について民間活力等を導入する方針はありますか。(○はひとつだけ)

1. 積極的に導入する方針である 2. ある程度は導入する方針である 3. 導入する方針はない



「積極的に導入する方針である」「ある程度は導入する方針がある」場合は、方式についておこたえください。

SQ1. どのような方式を検討していますか。(あてはまるものすべて)

1. PFI方式(コンセッション方式を除く)
2. コンセッション方式
3. 指定管理者制度
4. その他

(具体的に)

※「PFI(Private Finance Initiative: プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)」とは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法のことで、日本では1999年にPFI法が成立し、本格導入された。

※「コンセッション(公共施設等運営権)方式」とは、利用料収入がある公共施設について、その利用料の徴収を含む運営権を、公共団体が民間事業者に期限付きで渡す方式のこと。既存の公共施設についても(新設や大規模改修がなくても)導入可能。

Q3. 大規模災害への対応について伺います。

(1) 文化施設における大規模災害への対応について今、課題になっていることはありますか。

1. ある 2. ない



「ある」場合は、具体的な内容についておこたえください。

(具体的に)

(1) 仮設使用等による文化芸術施設

(例えば、小学校の空き校舎を創作工房として活用する等) (○はひとつだけ)

-

①、⑥、⑦にそれぞれご記入ください。②～⑤は下記の選択肢の中から選び、あてはまる番号を選択してください。

(③～⑤は○はひとつだけ)

※上欄に○印(下の選択肢からあてはまる番号を選んで、上の②～⑤の欄の番号を選択してください)

1. 指定文化財 2. 登録文化財 3. いずれでもない

(2) 貴団体が出捐・出資した法人が設置した文化芸術施設

先にご回答いただいた本調査対象施設以外に、貴団体が出資した法人が設置した施設で、「専用ホール」「その他ホール」「美術館」「練習場・創作工房」「それらを含む『複合施設』」に該当する施設はありますか。
(例えば、文化財団が設置者である文化ホール等)

1. ある

2. ない



下記の要領でご記入ください。

①と②、④にそれぞれご記入ください。③は下記の選択肢の中から選び、あてはまる番号に○を付けてください。

	①施設の正式名称 〔愛称〕	②設置者の正式名称	③施設内容 (○はひとつ)	④開館年月 (西暦で)
<A>	[]		1. 2. 3. 4. 5.	年 月
	[]		1. 2. 3. 4. 5.	年 月
<C>	[]		1. 2. 3. 4. 5.	年 月
<D>	[]		1. 2. 3. 4. 5.	年 月

※下の選択肢からあてはまる番号を選んで、上の③の欄の番号を選択してください。

③ 施設内容は、本調査における施設内容のいずれに該当しますか。(○はひとつだけ)

※下記施設分類は『調査の手引き』3頁の「本調査対象施設とは」を参照。

1. 「専用ホール」 2. 「その他ホール」 3. 「美術館」
4. 「練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設を含む)」 5. それらを含む「複合施設」

これで本調査における回答項目は終了です。ご協力ありがとうございました。

2019年度 地域の公立文化施設実態調査

施設調査票

本調査対象施設の管理運営者にご記入いただきます。

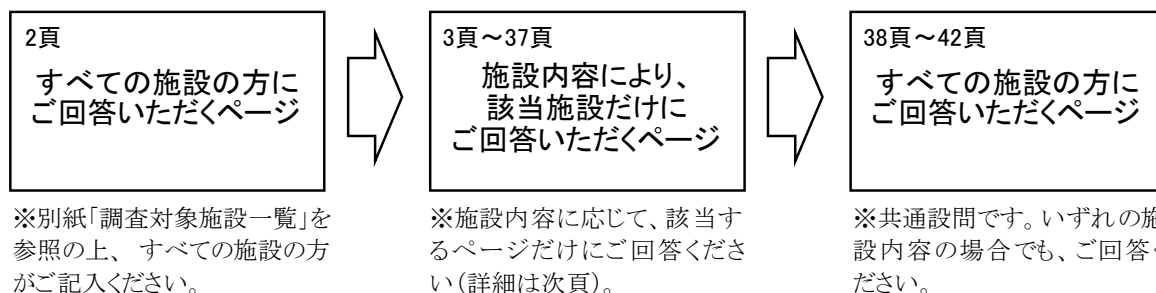
〔この調査について〕

1. 本調査は、「公の施設」である公立文化施設等のうち、次ページに示す施設について、活動状況を中心に伺うものです。
2. 2007年度、2010年度、2014年度に実施しました公立文化施設データベースの更新情報としても活用させていただきます。
3. 特に断りのない限り、設問にはすべて、2019年9月1日現在の状況をおこたえください。
4. 設問は、記入欄に文字や数字を記入していただくほか、あてはまる選択肢の番号を選ぶものもあります。「○はひとつだけ」「あてはまるものすべて」「年号は西暦で」等、設問ごとの注意事項に従ってご記入ください。

〔お手元の調査票等について〕

1. 「施設調査票」(本調査票) : 全42ページですが、貴施設の内容によって、ご回答いただく部分が異なります。
2. 「調査対象施設一覧」(別紙) : 本調査対象施設の一覧です。貴施設が記載されている事をご確認ください。

〔本調査票ご回答の手順〕



A. まず、太線枠内をご記入ください。

施設正式名称 〔愛 称〕	ネーミングライツによる 場合、右欄にチェック		
地方公共団体名			

B. 次に、ご回答者と貴施設について下欄にご記入ください。

直営か指定管理か	1. 指定管理(公募)	2. 指定管理(非公募)	3. 指定管理(PFI事業者)	4 直営
所属機関・団体名				
所属部署・職名		回答者名		
連絡先電話番号・FAX番号	TEL:	FAX:		
連絡先メールアドレス	@			
施設の公式Webサイト	1. あり〔		〕 2. なし	
施設の住所 (都道府県名は省略)	〔〒 ー 〕			
施設の開館年月 (西暦で)	〔 〕年〔 〕月			
施設規模 (複合施設は施設全体について回答)	敷地面積〔 〕㎡ 延床面積〔 〕㎡ (小数点以下は四捨五入し、整数でお答えください。)			

※貴施設が、民間施設(商業施設、オフィス、住宅等)との合築の場合、右欄にチェックしてください。

※貴施設が、PFIで整備された施設の場合、右欄にチェックしてください。

※貴施設が、2018年度に大規模改修により長期休館していた、もしくは、新規施設のため年度途中で開館したなどにより、通年開館していなかった場合、右欄にチェックしてください。

(参考)

本調査対象施設とは	「公の施設」(特別区、一部事務組合等が設置した施設を含む)である公立文化施設のうち、「ホール」、「美術館」、「練習場・創作工房」、及びそれらを含む「複合施設」を指す。
------------------	---

■「ホール」とは・・・

舞台及び客席や舞台設備等を有し、舞台芸術の公演等を行う施設(*)。「ホール」は、さらに次の2つに区分する。

■「専用ホール」
コンサートホール、劇場、多目的文化ホール、能楽堂、オペラハウス、映像ホールなど、舞台芸術の公演等を主用途とする施設。

■「その他ホール」
舞台芸術以外の利用を主用途とする施設(アリーナ、体育館、メッセ、国際会議場、公民館等)で、舞台及び客席(可動式を含む)や舞台設備等を有し、現に舞台芸術の公演を行う施設。

*美術館に付属する視聴覚ルーム等の附属施設や、練習場専用施設で公演も行う場合は該当しない。

■「美術館」とは・・・

博物館法の規定に関わりなく、美術作品の展覧会等を行う専用施設(*)。

*収蔵品の有無は問わない。専ら貸し会場としてのみ運営される施設も含むが、ホールに付属する市民ギャラリー等の附属施設は該当しない。

■「練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設を含む)」とは・・・

音楽・演劇等の舞台芸術の練習、又は美術の創作を行う専用施設やアーティスト・イン・レジデンス(滞在制作)の専用施設(*)。

*独立した運営となっている施設。ホールに付属する練習室や、美術館に付属する創作工房等の、附属施設は該当しない。

■それらを含む「複合施設」とは・・・

上記の「ホール」「専用ホール」又は「その他ホール」、「美術館」、「練習場・創作工房」のいずれかが含まれる複合施設(*)。

*複合施設とは、館の事業目的を達成するために設けられた中心施設が複数ある施設を指す。
民間施設(商業施設、オフィス、住居等)との合築は「複合施設」に含まず、単独施設とする。

1.専用ホール

「専用ホール」の管理運営者にご記入いただきます。

Q1. 貴ホールの概要について伺います。

(1) 個別ホールごとの施設概要を伺います。

①に個別ホールの名称を、②④に数字を、それぞれご記入頂き、

③については以下の選択肢であてはまるものすべてに✓をおつけください。

- | | | | | | |
|------------|---------|------------|------------|--------|-----------|
| 1. クラシック音楽 | 2. オペラ | 3. ポピュラー音楽 | 4. 日本の伝統音楽 | 5. 演劇 | 6. ミュージカル |
| 7. ダンス・舞踊 | 8. 古典芸能 | 9. 映像 | 10. 多目的 | 11. 集会 | 12. その他 |

①個別ホールの名称	②客席 最大席数	③ホールの主目的 (あてはまるものすべて)						④2018年度(前年度)実績			
								利用可能 日数	利用日数	自主事業 利用日数	貸し館 利用日数
〈A〉	席	1.	2.	3.	4.	5.	6.				
		7.	8.	9.	10.	11.	12.	日	日	日	日
〈B〉	席	1.	2.	3.	4.	5.	6.				
		7.	8.	9.	10.	11.	12.	日	日	日	日
〈C〉	席	1.	2.	3.	4.	5.	6.				
		7.	8.	9.	10.	11.	12.	日	日	日	日
〈D〉	席	1.	2.	3.	4.	5.	6.				
		7.	8.	9.	10.	11.	12.	日	日	日	日
〈E〉	席	1.	2.	3.	4.	5.	6.				
		7.	8.	9.	10.	11.	12.	日	日	日	日

Q2. ホールの運営体制について伺います。

(1) 貴ホールの館長(責任者)について伺います。

① 館長の雇用形態は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 常勤 2. 非常勤

② 職種は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 芸術系専門職 2. 行政職 3. 教育職 4. 経営職 5. その他

③ 公募ですか、非公募ですか。(○はひとつだけ)

1. 公募 2. 非公募

(2) 現在、貴ホールの運営に携わるスタッフ数(館長や管理職、専門職員も含む)を伺います。下記に記載した要領で、職種別、雇用形態別にお知らせください。

※期間限定で特定の事業にのみ従事するスタッフは除きます。

※兼務の場合は、次の要領で按分してください。

(1) 複合施設など他施設と兼務の場合は、施設ごとの業務量に応じて按分し、ホール運営に携わるスタッフ数を記入。

(例えば、ホールと体育館の複合施設で2施設の総務を兼務するスタッフが1名で業務量が半々なら0.5人とカウント)

(2) 職種が兼務の場合は、業務量に応じて按分し、職種別の内訳と合計を一致させる。

(例えば、総務と事業を1人が兼務していて業務量が半々の場合は、総務と事業に0.5人ずつカウント)

※非常勤の場合は、次の要領で常勤換算してください。

(1) パートタイムや非常勤スタッフの場合は、勤務日数・勤務時間から常勤職員の通常勤務(日数・時間)に換算。

常勤換算したおおよその人数を記入。

(2) 施設管理系スタッフについては、警備・清掃などの委託の人数は含めないでください。

(3) 舞台技術系スタッフについては、委託の人数を含めてください。

※按分や常勤換算はおおよそで結構です。結果は、小数点以下1位までとしてください。

事業系スタッフ	施設管理系スタッフ	舞台技術系スタッフ	総務系スタッフ	合計
人	人	人	人	人

↓

うち正規職員
人

(3) 貴ホールには、教育普及活動を担当する職員はいますか。(○はひとつだけ)

1. 専任の職員がいる 2. 専任ではないが、担当する職員はいる 3. 担当として決まっている職員はいない
4. いない

(4) 貴ホールには、文化芸術領域における専門職員として、次の1.~3.に該当(類似)する人が在任していますか。

在任者がある場合は1.~3.から選んでください。(あてはまるものすべて)

在任者がいない場合は、4.を選んでください。

1. 芸術監督が在任している
2. プロデューサーが在任している
3. 上記以外の文化芸術領域の専門職員が在任している

専門職員種別ごとに、在任者の氏名を記入し、公募かどうか
(1.公募または2.非公募)、雇用形態(1.常勤または2.非常勤)、
館長職との兼務の有無、在任期間についてご記入ください。

	1. 芸術監督 2. プロデューサー 3. その他〔具体名称〕	氏名	1. 公募 2. 非公募	1. 常勤 2. 非常勤	館長と兼務 の場合、✓	在任期間
A	1. 2. 3. []		1. 2.	1. 2.		年
B	1. 2. 3. []		1. 2.	1. 2.		年
C	1. 2. 3. []		1. 2.	1. 2.		年

4. 文化芸術領域の専門職員は在任していない

Q3. ホールの施設運営費について伺います。

(1)直営の場合



下記にご回答ください。

(2)指定管理の場合



次頁(2)にご回答ください。

(1) 直営施設の施設運営費

貴ホールの運営費について、2018年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、ホール運営に係る運営費をご記入ください。

※支出合計と収入合計の金額が一致するようにしてください。

<収入金額>

施設運営費 収入内訳	2018年度決算
一般財源	千円
特定財源	
補助金・助成金	千円
施設使用料・入場料収入等 (*1)	千円
その他	千円
合計	千円

*1 施設使用料等を一般財源とせず、特定財源で施設運営費に充当している場合にご記入ください。

<支出金額>

施設運営費 支出内訳	2018年度決算
事業費 (*1)	千円
人件費 (*2)	千円
運営管理費 (*3)	千円
その他 (*4)	千円
合計	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

*2 施設運営費に含まれる人件費があればご記入ください。

*3 施設の運営全般にかかる経費(レセプション、施設全体の広告宣伝費等)、舞台技術、施設の保守・点検、清掃、警備、光熱水費、備品購入費等。
※委託の場合は委託費を含みます。

*4 事業費・人件費・運営管理費のいずれにも該当しない支出を合算してください。

※運営管理費に、舞台技術系の業務委託による常勤スタッフの委託費は含まれていますか。(○はひとつだけ)

1. 含む

2. 含まない

千円

前頁Q2(2)でご記入のスタッフ(館長や管理職、専門職含む)のうち、施設運営費に含まれない、地方公共団体職員の人件費があれば、ご記入ください(概算推計で可)。

※複合施設で兼務の場合はQ2(2)のご回答に準じて按分した人数に応じた金額をご記入ください。

※施設運営費に含まれない地方公共団体職員等人件費

千円

(2) 指定管理施設の施設運営費

貴ホールの運営費について、2018年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、ホール運営に係る運営費をご記入ください。

<収入金額>

施設運営費 収入内訳	2018年度決算
<設置者からの収入>	
指定管理料	千円
事業補助金 (*1)	千円
事業受託費 (*2)	千円
その他 (*3)	千円
<自主財源>	
利用料金収入 (*4)	千円
事業収入	千円
設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金	千円
その他	千円
合計	千円

*1 指定管理料以外に設置者からの事業補助金がある場合にご記入ください(指定管理者である文化財団本部に対する事業補助金で当該ホールの事業を実施する場合を含む)

*2 設置者から事業の委託を受け、その費用を指定管理料とは別に事業受託費として受け取っている場合にご記入ください。

*3 事業補助金、事業受託費以外の費目で、指定管理料とは別に設置者から受け取っている収入がある場合にご記入ください。

*4 利用料金制を採っている場合にご記入ください。

※複合施設の場合などで、貴ホール(付属施設を含む)以外の施設運営による収入(自主財源)を貴ホールの施設運営に充当している場合は、その金額も含めて左欄にご記入の上、下欄にチェックしてください。

※指定管理料の内訳が明示されている場合は、下欄にご記入ください。内訳明示がなければ無記入でかまいません。

管理運営費	千円	事業費	千円
人件費	千円	その他	千円

<支出金額>

施設運営費 支出内訳	2018年度決算
事業費 (*1)	千円

*1 鑑賞、創造、普及、市民参加型等事業費、広報宣伝費等。

※ 事業費に該当する金額がなく空欄のホールにだけ伺います。

その理由として、次のうち最も近いものをお選びください。(○はひとつだけ)

1. 当該ホールでは事業を実施していない
2. 事業は設置主体が行うので、指定管理者の予算に含まれていない
3. その他〔

〕

Q4. 文化芸術ジャンルの自主事業等について伺います。

- (1) 貴ホールでは、2018年度に、文化芸術ジャンルの自主事業(ホールの主催事業)、または設置主体からの文化芸術ジャンルの受託事業を実施しましたか。

＜直営施設＞ (1.と2.両方にあてはまる場合はいずれも選択)

1. 施設の設置主体が直接事業を実施した
2. 自主事業を年間を通じて実施する別団体に設置主体から委託して実施した

└ (名称)

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

3. いずれも実施していない → 11頁のQ5へお進みください。

＜指定管理施設＞ (1.、2.、3.それぞれにあてはまる場合はいずれも選択)

1. 指定管理者が自主事業を実施した
2. 指定管理者以外で当該ホールの自主事業を実施する団体があり、そこがホールの自主事業を実施した

└ (名称)

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

3. 設置主体からの受託事業を実施した
4. いずれも実施していない → 11頁のQ5へお進みください。

(2) ジャンル別自主事業・受託事業数

2018年度に実施した自主事業及び受託事業の件数を、ジャンル別に記入してください。

※ジャンルが多岐にわたる場合は主に当てはまるところに記入し、合計が合うようにしてください。

※該当する事業がない欄は、無記入で空欄のままにしてください。

	文化芸術ジャンルの自主事業、受託事業										合計
	1. クラシック 音楽・ オペラ	2. ポピュラー 音楽	3. 日本の 伝統 音楽	4. その他 音楽	5. 演劇・ミュー ジカル	6. ダンス・ 舞踊	7. 古典 芸能	8. 映画	9. 文化芸術関 連の講座・ 講演会	10. 総合・その 他の文化芸 術ジャンル	
自主事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
受託事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件

- (3) 文化芸術ジャンルの事業について、次の催しを実施しましたか。2018年度に自主事業または受託事業で実施したものがあれば選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 映画、アニメ、ゲーム等の楽曲のオーケストラ演奏
2. ジュニア・オーケストラ
3. オペラ
4. オペラの楽曲のコンサート(オペラコンサート)
5. 市民参加型の第九合唱
6. 吹奏楽
7. ジャズ
8. ワールドミュージック、エスニック音楽
9. アマチュア・バンドのフェス
10. 琴、三味線、津軽三味線
11. 創作太鼓
12. ミュージカル
13. アマチュア演劇のフェス
14. バレエ
15. ストリートダンス、ヒップホップダンス
16. コンテンポラリー・ダンス
17. 歌舞伎
18. 能
19. 狂言
20. 文楽、人形浄瑠璃
21. 神楽
22. 日本舞踊
23. 落語
24. 映画祭
25. 複数ジャンルのコラボレーション(音楽×現代美術等)
26. 市民文化祭、芸術祭
27. 防災・避難訓練コンサート(他の文化イベントでの展開を含む)
28. インバウンド対応の観光文化イベント

- (4) 上の(2)でご記入の文化芸術ジャンルの事業について、次の形態の事業を実施しましたか。2018年度に自主事業または受託事業で実施したものがあれば選んでください。(あてはまるものすべて)

※ひとつの事業でタイプが多岐にわたる場合は、該当するものすべて選択。

＜普及・体験系事業＞

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------|
| 1. レクチャー付きコンサート、鑑賞教室等の普及型鑑賞事業 | 2. 無料のロビーコンサート |
| 3. ワンコインコンサート(低料金の定期的コンサート) | 4. ホール内で実施する体験型事業(ワークショップ等) |
| 5. 文化芸術関連の講座・講演会 | 6. バックステージツアー |

＜創造系事業＞

7. 地域向けに貴ホールが企画したプロデュース公演事業
8. 全国発信を目的として貴ホールが企画したプロデュース公演事業
9. 市民オペラ、市民ミュージカル、市民劇、市民バレエ等の市民参加型の創造事業

＜育成系事業＞

- | | | |
|----------------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 10. 市民・子どもの文化クラブ | 11. 市民を対象とした舞台技術講座 | 12. アマチュア演奏家を対象としたクリニック |
| 13. 地元アーティストの育成・支援を目的とした事業 | 14. 市民を対象としたアートマネジメント研修 | |
| 15. 上記に挙げる形態の自主事業、受託事業はどれも行っていない | | |

- (5) 貴ホールでは、2018年度に、アウトリーチ活動(ホール外で実施する、ワークショップ等の体験型事業や、出前型のミニコンサート等)を実施されましたか。(○はひとつだけ)

- | | | |
|---------|-------------------|----------------------------|
| 1. 実施した | 2. 実施したいがまだできていない | 3. 実施していないし、いまのところ実施の予定はない |
|---------|-------------------|----------------------------|

↓ 下記のSQ1～SQ5に
回答ください。

↓ (6)にお進みください。

(選択肢1回答の方へ)

SQ1. どのような内容でしたか。(あてはまるものにすべて)

- | | | | | |
|------------|--------|--------|-------|---------|
| 1. クラシック音楽 | 2. 邦楽 | 3. ダンス | 4. 演劇 | 5. 伝統芸能 |
| 6. その他 | (具体的に) | | | |

SQ2. 2018年度のアウトリーチ実施回数は何回ですか。

[] 回

SQ3. アウトリーチの実施先としては主にどのようなものがありますか。(あてはまるものにすべて)

- | | | |
|------------------|----------------------------------|------------------|
| 1. 地域の幼稚園や保育園 | 2. 地域の小学校 | 3. 地域の中学校 |
| 4. 地域の高校・高専 | 5. 地域の高齢者施設 | 6. 地域の障がい者施設 |
| 7. 地域の医療施設・病院 | 8. 児童福祉、子ども子育て施設 | 9. 地域の公民館や交流センター |
| 10. 地域の文化施設 | 11. 観光施設 | 12. 商業施設 |
| 13. 屋外(公園等)やまちかど | 14. その他 [] | |

SQ4. アウトリーチを実施するにあたって、アーティスト登録制度はありますか。(○はひとつだけ)

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

↓ 登録者は何人いますか。 [] 人

登録アーティストへの研修制度はありますか。 [ある・ ない]

SQ5. 貴ホールで特徴あるアウトリーチ事業を実施されていたらお知らせください。

(具体的に)

(6) 貴ホールでは次の対象者に向けた取組を2018年度に実施しましたか(アウトリーチ事業は含みません)。(あてはまるものすべて)

- | | | | | |
|-----------------------|------------------|--------------|------------|--------|
| 1. 乳幼児(0～2歳相当) | 2. 未就学児童(3～5歳相当) | 3. 小学生 | 4. 中学生 | 5. 高校生 |
| 6. 大学/大学院/専門学校生 | 7. 社会人 | 8. リタイア層・高齢者 | 9. 認知症患者 | |
| 10. 視覚障がい者 | 11. 聴覚障がい者 | 12. 肢体不自由者 | 13. 知的障がい者 | |
| 14. 在住外国人 | 15. 訪日観光客 | 16. その他〔 | | 〕 |
| 17. 特定対象者向けの事業はやっていない | | | | |

(7) 貴ホールでは、2018年度に貴ホールが中心となった「まちなかでの文化イベント」を実施しましたか。(○はひとつだけ)

1. 実施した 2. 実施していない



↓ 具体的イベント名称または内容をご記入ください。

(8) 特徴ある自主事業

貴ホールで2018年度に実施した文化芸術ジャンルの自主事業のうち、特徴あるもの・特に成功したと思われるものがあれば、お知らせください。

<特徴ある事業A>

事業名〔	〕	実施時期〔	〕
内容			

<特徴ある事業B>

事業名〔	〕	実施時期〔	〕
内容			

<特徴ある事業C>

事業名〔	〕	実施時期〔	〕
内容			

Q5. 貸し館について伺います。

(1) 貴ホールでは、貸し館を実施していますか。(○はひとつだけ)

1. している 2. していない → 下のQ6へお進みください。



(2) 貴ホールにおいて実施しているものがあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 減免制度 2. 優先貸出 3. 長期使用 4. 利用時間延長 5. 定期利用

※優先貸出とは、一般の申し込みに先立って優先的に利用予約を受け付ける等の優先を認めること。

※長期使用とは、公演前リハーサル等のために概ね1週間以上の長期にわたって貸し出しを認めること。

※利用時間延長とは、開館時間外の利用を認めること(搬入搬出を含む)。

※定期利用とは、例えば毎週水曜日、毎年6月等のように特定期間の定期利用を認めること。

Q6. 運営等について伺います。

(1) 専属またはフランチャイズの団体、アーティストはありますか。(○はひとつだけ)

1. ある → 名称を記入してください
2. ない

(2) ジュニアオーケストラ、市民ミュージカル劇団、市民オーケストラ、市民合唱団のような育成団体はありますか。

1. ある → 名称を記入してください
2. ない

(3) 友の会組織はありますか。ある場合は、会員数をお知らせください。(○はひとつだけ)

1. ある → 会員数^(*) 有料会員〔 〕人 * 家族会員等の場合も、延べ人数でご記入ください。
2. ない 無料会員〔 〕人

(4) 貴ホールの活動にはボランティアが参加していますか。(○はひとつだけ)

1. ボランティア組織があり、 2. 恒常的ではないが、 3. ない
恒常的に活動している 事業ごとに募る等活動実績がある

(5) 貴ホールでは、「劇場・ホール・美術館・博物館」との連携・協力を継続的に実施していますか。(あてはまるものすべて)

1. 立地都道府県内のホール・劇場
2. 立地都道府県外のホール・劇場
3. 立地都道府県内の美術館・博物館
4. 立地都道府県外の美術館・博物館 } → 下記のSQ1、SQ2におこたえください。
5. 他の「劇場・ホール・美術館・博物館」と連携・協力はしていない → (6)にお進みください。

(選択肢1、2、3、4回答の方へ)

SQ1. 具体的な連携・協力内容を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 共同広告・共同宣伝の実施、周遊マップづくり
2. チケットの共同販売や共通パスの発行
3. 事業の共同企画・実施
4. 巡回公演(自主事業のみ)
5. 職員の共同研修
6. 連絡会の開催や情報共有
7. その他

SQ2. 他の「劇場・ホール・美術館・博物館」との連携について、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

(6) 貴ホールでは、「劇場・ホール・美術館・博物館以外の施設・団体等」と地域における文化芸術推進に関する継続的な連携・協力を実施していますか。(あてはまるものすべて)

1. 公民館、生涯学習センター、地区センター、コミュニティセンター等の交流系施設
2. 図書館
3. 青少年施設、女性センター、体育館等
4. 地域のアーティスト、文化活動団体
5. アートNPO等
6. まちづくり、市民協働系のNPO法人や市民活動団体
7. 福祉系の団体・施設
8. 子ども子育て系の団体・施設
9. 大学、専門教育機関
10. 小中高等学校の教職者や活動団体
11. 商店会、商工会、商業施設等
12. 観光協会、観光施設等
13. 地元企業
14. その他

(具体的に)

15. 劇場・ホール・美術館・博物館以外の団体・施設等との連携はしていない → 「専用ホール」の質問は終了です。

(選択肢1～14回答の方へ)

SQ1. 具体的な連携・協力内容を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 宣伝、販売協力
2. 事業の共同企画・実施
3. 事業の委託
4. 事業の受託
5. 運営委託、運営サポート
6. 専門家や指導者の派遣
7. 専門家や指導者の招聘
8. 調査研究
9. 連絡会の開催や情報共有
10. インターンの受入
11. その他

SQ2.「劇場・ホール・美術館・博物館以外の施設・団体等」との連携で、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

「専用ホール」に関する質問は以上で終了です。 → 貴施設が「2.その他ホール」との複合施設となっている場合は14頁、「3.美術館」との複合施設となっている場合は20頁、また、「4.練習場・創作工房（アーティスト・イン・レジデンス施設含む）」との複合施設になっている（練習場等が、付帯施設ではなく、独立した施設として別途運営されている）場合は31頁、施設内容が「1.専用ホール」だけの場合は、38頁へお進みください。

2.その他ホール

「その他ホール」の管理運営者にご記入いただきます。

Q7. 貴ホール(貴施設)の概要について伺います。

(1) 貴ホール(貴施設)の主たる施設内容^(*)をお知らせください。(○は最も近いものにひとつだけ)

*「主たる施設内容」とは、館の事業目的を達成するために設けられた中心的な施設のことを指します。

1. 公民館、コミュニティセンター、生涯学習センター等(地域住民のための社会教育施設・集会施設)
2. 国際会議場、各種の会館、センター等(舞台芸術以外を主用途としたホール専用施設・集会施設)
3. メッセ、産業展示場、イベントホール等(平場の大きな空間を持つ展示場施設)
4. 体育館、アリーナ、各種スポーツ施設
5. その他

(2) 貴施設で、「その他ホール^(*)」に該当する個別ホールの合計数^(*)をご記入ください

〔 〕ホール

*1「その他ホール」とは、舞台芸術以外での利用が主用途だが、舞台および客席(可動席を含む)を擁し、実際に舞台芸術の公演に利用されているホール施設を指します。舞台芸術の公演を行っていない個別ホールについてはカウントしないでください。

*2 例えば「大ホール」と「小ホール」がある場合は、「2」とご記入ください。

(3) 次に、上の(3)でご回答の個別ホールについて、それぞれ施設概要を伺います。

①に個別ホールの名称を、②④に数字を、それぞれご記入頂き、

③については以下の選択肢であてはまるものすべてに✓をおつけください。

- | | | | | | |
|------------|---------|------------|------------|--------|-----------|
| 1. クラシック音楽 | 2. オペラ | 3. ポピュラー音楽 | 4. 日本の伝統音楽 | 5. 演劇 | 6. ミュージカル |
| 7. ダンス・舞踊 | 8. 古典芸能 | 9. 映像 | 10. 多目的 | 11. 集会 | 12. その他 |

①個別ホールの名称	②客席	③ホールの主目的 (あてはまるものすべて)	④2018年度(前年度)実績			
	最大席数		利用可能 日数	利用日数	自主事業 利用日数	貸し館 利用日数
〈A〉	席	1. 2. 3. 4. 5. 6.				
		7. 8. 9. 10. 11. 12.	日	日	日	日
〈B〉	席	1. 2. 3. 4. 5. 6.				
		7. 8. 9. 10. 11. 12.	日	日	日	日
〈C〉	席	1. 2. 3. 4. 5. 6.				
		7. 8. 9. 10. 11. 12.	日	日	日	日
〈D〉	席	1. 2. 3. 4. 5. 6.				
		7. 8. 9. 10. 11. 12.	日	日	日	日
〈E〉	席	1. 2. 3. 4. 5. 6.				
		7. 8. 9. 10. 11. 12.	日	日	日	日

Q8. 文化芸術ジャンルの自主事業等について伺います。

- (1) 貴ホールでは、2018年度に、文化・芸術ジャンルの自主事業(ホールの主催事業)、または設置主体からの文化・芸術ジャンルの受託事業を実施しましたか。

<直営施設> (1と2両方にあてはまる場合はいずれも選択)

- 施設の設置主体が直接事業を実施した
- 自主事業を年間を通じて実施する別団体に設置主体から受託して実施した

(名称)

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

- いずれも実施していない → 19頁のQ9へお進みください。

<指定管理施設> (1.、2.、3.それぞれにあてはまる場合はいずれも選択)

- 指定管理者が自主事業を実施した
- 指定管理者以外で当該ホールの自主事業を実施する団体があり、そこがホールの自主事業を実施した

(名称)

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

- 設置主体からの受託事業を実施した
- いずれも実施していない → 19頁のQ9へお進みください。

(2) ジャンル別自主事業・受託事業数

2018年度に実施した自主事業及び受託事業の件数を、ジャンル別に記入してください。

※ジャンルが多岐にわたる場合は主に当てはまるところに記入し、合計が合うようにしてください。

※該当する事業がない欄は、無記入で空欄のままにしてください。

	文化芸術ジャンルの自主事業、受託事業										合計
	1. クラシック 音楽・ オペラ	2. ポピュラー 音楽	3. 日本の 伝統 音楽	4. その他 音楽	5. 演劇・ミュー ジカル	6. ダンス・ 舞踊	7. 古典 芸能	8. 映画	9. 文化芸術関 連の講座・ 講演会	10. 総合・その 他の文化芸 術ジャンル	
自主事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件
受託事業数	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件	件

- (3) 上記の(2)でご記入の事業についての経費をお知らせください。

2018年度文化芸術ジャンルの自主事業費〔 〕千円

- (4) 上記の(2)でご記入の文化芸術ジャンルの事業について、次の形態の事業を実施しましたか。2018年度に自主事業または受託事業で実施したものがあれば選んでください。(あてはまるものすべて)

※ひとつの事業でタイプが多岐にわたる場合は、該当するものすべてを選択。

<普及・体験系事業>

1. レクチャー付きコンサート、鑑賞教室等の普及型鑑賞事業
2. 無料のロビーコンサート
3. ワンコインコンサート(低料金の定期的コンサート)
4. ホール内で実施する体験型事業(ワークショップ等)
5. 文化芸術関連の講座・講演会
6. バックステージツアー

<創造系事業>

7. 地域向けに貴ホールが企画したプロデュース公演事業
8. 全国発信を目的として貴ホールが企画したプロデュース公演事業
9. 市民オペラ、市民ミュージカル、市民劇、市民バレエ等の市民参加型の創造事業

<育成系事業>

10. 市民・子どもの文化クラブ
11. 市民を対象とした舞台技術講座
12. アマチュア演奏家を対象としたクリニック
13. 地元アーティストの育成・支援を目的とした事業
14. 市民を対象としたアートマネージメント研修
15. 上記に挙げる形態の自主事業、受託事業はどれも行っていない

(5) 貴ホールでは、2018年度に、アウトリーチ活動(ホール外で実施するワークショップ等の体験型事業やミニコンサート等)を実施されましたか。(〇はひとつだけ)

1. 実施した 2. 実施したいがまだできていない 3. 実施していないし、いまのところ実施の予定はない

↳ 下記のSQ1～SQ5に
回答ください。

➡ (6)にお進みください。

(選択肢1.と回答の方へ)

SQ1. どのような内容でしたか。(あてはまるものすべて)

1. クラシック音楽 2. 邦楽 3. ダンス 4. 演劇 5. 伝統芸能
6. その他 (具体的に)

(具体的に)

SQ2. 2018年度のアウトリーチ実施回数は何回ですか。

$$\left[\begin{array}{c} \square \\ \square \end{array} \right] \square$$

SQ3. アウトリーチの実施先としては主にどのようなものがありますか。(あてはまるものすべて)

- | | | |
|------------------|------------------|------------------|
| 1. 地域の幼稚園や保育園 | 2. 地域の小学校 | 3. 地域の中学校 |
| 4. 地域の高校・高専 | 5. 地域の高齢者施設 | 6. 地域の障がい者施設 |
| 7. 地域の医療施設・病院 | 8. 児童福祉、子ども子育て施設 | 9. 地域の公民館や交流センター |
| 10. 地域の文化施設 | 11. 観光施設 | 12. 商業施設 |
| 13. 屋外(公園等)やまちかど | 14. その他〔 | |

SQ4. アウトリーチを実施するにあたって、アーティスト登録制度はありますか。(○はひとつだけ)

1. ある 2. ない

→ 登録者は何人いますか。〔 〕人

登録アーティストへの研修制度はありますか。 [ある・ ない]

SQ5. 貴ホールで特徴あるアウトリーチ事業を実施されていたらお知らせください。

(具体的に)

(6) 貴ホールでは次の対象者に向けた取組を2018年度に実施しましたか(アウトリーチ事業は含みません)。(あてはまるものすべて)

- | | | | | |
|-----------------------|------------------|--------------|------------|--------|
| 1. 乳幼児(0～2歳相当) | 2. 未就学児童(3～5歳相当) | 3. 小学生 | 4. 中学生 | 5. 高校生 |
| 6. 大学/大学院/専門学校生 | 7. 社会人 | 8. リタイア層・高齢者 | 9. 認知症患者 | |
| 10. 視覚障がい者 | 11. 聴覚障がい者 | 12. 肢体不自由者 | 13. 知的障がい者 | |
| 14. 在住外国人 | 15. 訪日観光客 | 16. その他〔 | 〕 | |
| 17. 特定対象者向けの事業はやっていない | | | | |

(7) 貴ホールでは、2018年度に貴ホールが中心となった「まちなかでの文化イベント」を実施しましたか。(○はひとつだけ)

1. 実施した 2. 実施していない
- ↓
具体的イベント名称または内容をご記入ください。

(8) 特徴ある自主事業

貴ホールで2018年度に実施した文化芸術ジャンルの自主事業の内、特徴あるもの・特に成功したと思われるものがあれば、お知らせください。

<特徴ある事業A>

事業名〔	〕 実施時期〔	〕
内容		

<特徴ある事業B>

事業名〔	〕 実施時期〔	〕
内容		

<特徴ある事業C>

事業名〔	〕 実施時期〔	〕
内容		

Q9. 貸し館について伺います。

(1) 貴ホールでは、貸し館を実施していますか。(○はひとつだけ)

1. している

2. していない → その他ホールの回答は終了です。



(2) 貴ホールにおいて実施しているものがあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 減免制度

2. 優先貸出

3. 長期使用

4. 利用時間延長

5. 定期利用

※優先貸出とは、一般の申し込みに先立って優先的に利用予約を受け付ける等の優先を認めること。

※長期使用とは、公演前リハーサル等のために概ね1週間以上の長期にわたって貸し出しを認めること。

※利用時間延長とは、開館時間外の利用を認めること(搬入搬出を含む)。

※定期利用とは、例えば毎週水曜日、毎年6月等のように特定期間の定期利用を認めること。

「その他ホール」に関する質問は以上で終了です。 → 貴施設が「3.美術館」との複合施設となっている場合は20頁、また、「4.練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設含む)」との複合施設になっている(練習場等が、付帯施設ではなく、独立した施設として別途運営されている)場合は31頁、施設内容が「2.その他ホール」だけの場合は、38頁へお進みください。

美術館の管理運営者にご記入いただきます。

(1) 貴美術館の種別としてあてはまるものを選んでください。(○はひとつだけ)

- (2) 施設概要について、下記にご記入ください。

(3) 貴美術館にある付帯施設をお知らせください。(あてはまるものすべて)

- (4) 開館日数 ※開館日数とは、365日から休館日、保守点検日、施設改修等で利用できない日を除く日数。

(5) 開館時間

〔 〕時〔 〕分～〔 〕時〔 〕分 ※通常時の開館時間をご記入ください。

※例えば午後4時は「16時」と、24時制でご記入ください。

(6) 夜間延長の有無

貴美術館では、2018年度に、開館時間の夜間延長を行いましたか。(〇はひとつだけ)

1. した 2. していない → (7)へ



※例えば午後4時は「16時」と、24時制でご記入ください。

SQ2. 2018年度に計何日間夜間延長をしましたか。 [] 日間

SQ3. 夜間開館により入館者数は増えましたか。(○はひとつだけ)

1. 想定以上に入館者数が増えた 2. ほぼ想定通りに入館者数が増えた 3. 想定ほど増えなかった
4. わからない・入館者数の比較はしていない

(7) 夜間延長の意向

貴美術館では、今後、開館時間の夜間延長を行う予定ですか。(〇はひとつだけ)

1. 今年度(2019年度)既に実施しており、継続する予定
2. 今年度(2019年度)から実施する予定
3. 来年度以降の実施を計画、検討している
4. いまのところ夜間延長をする計画はない

Q11. 美術館の運営体制について伺います。

(1) 貴美術館の館長職について伺います。

- ① 館長の雇用形態は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 常勤 2. 非常勤

- ② 職種は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 学芸専門職 2. 研究職 3. 教育職 4. 行政職
5. 経営職 6. その他

- ③ 公募ですか。(○はひとつだけ)

1. 公募 2. 非公募

(2) 現在、貴美術館の運営に携わるスタッフ数(館長や管理職も含む)を伺います。下記の要領で、職種別にお知らせください。

※期間限定で特定の事業にのみ従事するスタッフは除きます。

※兼務の場合は、次の要領で按分してください。

- (1) 複合施設等他施設と兼務の場合は、施設ごとの業務量に応じて按分し、美術館運営に携わるスタッフ数を記入。
(例えば、美術館と図書館の複合施設で2施設の総務を兼務するスタッフが1名で業務量が半々なら0.5人とカウント)
- (2) 職種が兼務の場合は、業務量に応じて按分し、職種別の内訳と合計を一致させる。
(例えば、総務と事業を1人が兼務していて業務量が半々の場合は、総務と事業に0.5人ずつカウント)

※非常勤の場合は、次の要領で常勤換算してください。

- (1) パートタイムや非常勤スタッフの場合は、勤務日数・勤務時間から常勤職員の通常勤務(日数・時間)に換算。
常勤換算したおおよその人数を記入。

※按分や常勤換算はおおよそで結構です。結果は、小数点以下1位までとしてください。

学芸員（専門職種としての学芸員）	学芸員以外の事業系スタッフ(*)	施設管理系スタッフ	総務系スタッフ	合計
人	人	人	人	人

*学芸員以外で、展示や教育普及等の事業、及び広報・営業等を担当する者

うち正規職員
人

(3) 貴美術館には、教育普及に関する専門セクションはありますか、また専門担当者はいますか。(○はひとつだけ)

1. 教育普及の専門セクションがある
2. 教育普及の専門セクションはないが専門の担当者がいる
3. 専門の担当者はいないが学芸員が兼務している
4. 教育普及は実施していない
5. その他〔 〕

Q12. 美術館の施設運営費について伺います。

(1) 直営の場合



下記にご回答ください。

(2) 指定管理の場合



次頁(2)にご回答ください。

(1) 直営施設の施設運営費

貴美術館の運営費について、2018年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、美術館運営に係る運営費をご記入ください。

※支出合計と収入合計の金額が一致するようにしてください。

<収入金額>

施設運営費 収入内訳	2018年度決算
一般財源	千円
特定財源	
補助金・助成金	千円
施設使用料・入場料収入等 (*1)	千円
その他	千円
合計	千円

*1 施設使用料等を一般財源とせず、特定財源で施設運営費に充当している場合にご記入ください。

<支出金額>

施設運営費 支出内訳	2018年度決算
事業費 (*1)	千円
人件費 (*2)	千円
運営管理費 (*3)	千円
その他 (*4)	千円
合計	千円

*1 展覧会の開催、教育普及等の事業費、広報宣伝費等。

*2 施設運営費に含まれる人件費があればご記入ください。

*3 施設の運営全般にかかる経費(接遇、施設全体の広告宣伝費等)、施設の保守・点検、清掃、警備、光熱水費、備品購入費等。
※委託の場合は委託費を含みます。

*4 事業費・人件費・運営管理費のいずれにも該当しない支出を合算してください。

前頁Q11(2)でご記入のスタッフ(館長や管理職も含む)の内、施設運営費に含まれない、地方公共団体職員の人件費があれば、ご記入ください(概算推計で可)。

※複合施設で兼務の場合はQ11(2)のご回答に準じて按分した人数に応じた金額をご記入ください。

※施設運営費に含まれない地方公共団体職員等人件費

千円

(2) 指定管理施設の施設運営費

貴美術館の運営費について、2018年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。
複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、美術館運営に係る運営費をご記入ください。

<収入金額>

施設運営費 収入内訳	2018年度決算
<設置者からの収入>	
指定管理料	千円
事業補助金 (*1)	千円
事業受託費 (*2)	千円
その他 (*3)	千円
<自主財源>	
利用料金収入 (*4)	千円
事業収入	千円
設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金	千円
その他	千円
合計	千円

*1 指定管理料以外に設置者からの事業補助金がある場合にご記入ください(指定管理者である文化財団本部に対する事業補助金で当該施設の事業を実施する場合を含む)

*2 設置者から事業の委託を受け、その費用を指定管理料とは別に事業受託費として受け取っている場合に記入ください。

*3 事業補助金、事業受託費以外の費目で、指定管理料とは別に設置者から受け取っている収入がある場合にご記入ください。

*4 利用料金制を採っている場合にご記入ください。

※ 複合施設の場合などで、貴美術館(附属施設を含む)以外の施設運営による収入(自主財源)を貴美術館の施設運営に充当している場合は、その金額も含めて左欄にご記入の上、右欄にチェックしてください。

※指定管理料の内訳が明示されている場合は、下欄にご記入ください。(内訳明示がなければ無記入でかまいません)

管理運営費	千円
事業費	千円
人件費	千円
その他	千円

<支出金額>

施設運営費 支出内訳	2018年度決算
事業費 (*1)	千円

*1 展覧会の開催、教育普及等の事業費、広報宣伝費等。

※ 事業費に該当する金額がなく空欄の美術館にだけ伺います。
その理由として、次の内最も近いものをお選びください。(○はひとつだけ)

1. 当該美術館では事業を実施していない
2. 事業は設置主体が行うので、指定管理者の予算に含まれていない
3. その他〔

〕

Q13. 美術館の学芸業務について伺います。

(1) 貴美術館における自主事業(展覧会や教育普及等)の担い手は次のどれに該当しますか。(○はひとつだけ)

1. 施設の管理運営者が自主事業も担っている

2. 施設の管理運営者とは別 $\longrightarrow$ SQ1. 事業の担い手は設置主体ですか。それ以外ですか。

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。

1. 設置主体 (○はひとつだけ)

2. 1. 以外〔名称: 〕

3. 自主事業は実施していない $\longrightarrow$ 28頁のQ14へお進みください。

(2) 貴美術館では、2018年度に、自主事業(美術館の主催事業)による展覧会、

または設置主体からの受託事業による展覧会を実施しましたか。(○はひとつだけ)

施設の管理運営者が事業も担っている場合、Q12の(1)または(2)にご記入の事業費で実施したものについてお答えください。
展覧会には、設置主体からの事業補助金により、指定管理者である文化財団等の本部が実施したものを含みます。

1. 常設展と企画展の両方を実施

2. 企画展のみ実施

3. 常設展のみ実施 $\longrightarrow$ 1.、3.を回答した方はSQ4も回答ください。

4. いずれも実施していない

↓ 1.、2を回答した方はSQ1～SQ3に回答ください。

企画展を実施した美術館に伺います。

SQ1. 2018年度に実施した企画展の形態を次の中から選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 美術館の自主企画による展覧会

4. 新聞社等の主催による巡回展

2. 企画展として実施している収蔵品展

5. 企画会社等の持込による展覧会

3. 他の美術館との共同企画による展覧会

6. その他

(具体的に)

SQ2. 2018年度に次のテーマの企画展を実施しましたか。(あてはまるものすべて)

1. 子ども(親子)を対象とした普及型企画展

2. 市民(子ども含む)キュレーターによる企画展

3. アール・ブリュット、アウトサイダー・アート、エイブル・アート等をテーマにした企画展

4. 有形・無形の文化財をテーマにした企画展

5. 地域のアーティストが主に出品する企画展

6. 地域文化や産業をテーマにした企画展

7. 大規模な国際展(ビエンナーレ、トリエンナーレ含む) $\longrightarrow$ (具体的な名称)
※共催、実行委員会参加も含む(ただし、美術館の事業費に関与しないものは除く)

8. 上に挙げる企画展は実施していない。

SQ3. 2018年度に実施した企画展の件数、日数、入場者数をご記入ください。

企画展件数〔 〕件 企画展日数〔 〕日 企画展総入場者数〔 〕人

常設展を実施している美術館に伺います。

SQ4. 常設展は有料ですか、無料ですか。(○はひとつだけ)

1. 有料

2. 一部有料で一部無料

3. 無料

(3) 貴美術館では、2018年度に、展覧会以外に次のような事業を実施しましたか。

展覧会に関連して開催したものも含めて、実施した事業を選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 学芸員や専門家等によるギャラリートーク
2. 講演会
3. 学校向け団体鑑賞
4. 障がい者向け鑑賞プログラム
5. 教職員向け研修
6. 学芸員による出前授業(出前のワークショップを含む)
7. アーティストによる出前授業(出前のワークショップを含む)
8. 移動美術展
9. 鑑賞支援教材の作成
10. (館内での)ワークショップ
11. 実技講座
12. 映像上映(美術作品としての映像展示はのぞく)
13. 他ジャンルのイベント(音楽、演劇、ダンス等)
14. バックヤードツアー等
15. 滞在制作(アーティスト・イン・レジデンス)
16. 公開制作
17. 地域と関わって展開するアートプロジェクト(美術館外含む)

(具体的イベント名称もしくは内容をご記入ください)

18. その他

(具体的に)

19. いずれも実施していない

(4) 特徴ある自主事業

貴美術館で2018年度に実施した事業のうち、特徴あるもの・特に成功したものがあれば、お知らせください

<特徴ある事業A>

事業名〔	〕 実施時期〔	〕
内容		

<特徴ある事業B>

事業名〔	〕 実施時期〔	〕
内容		

<特徴ある事業C>

事業名〔	〕 実施時期〔	〕
内容		

(5) 貴美術館では、鑑賞者による美術品の写真撮影についてどのような対応をしていますか。(○はひとつだけ)

1. 全面的に禁止している → (6)にお進みください。
2. 一部認めている → 下記のSQ1、SQ2両方におこたえください。
3. 全面的に認めている → 下記のSQ2のみにおこたえください。

(選択肢2回答の方へ)

SQ1. どのような場合に写真撮影を認めていますか。(あてはまるものすべて)

1. 展覧会ごとに対応を検討している
2. 自館の収蔵品のみ認めている
3. 常設展示室のみ認めている
4. その他 (具体的に)

(具体的に)

(選択肢2、3回答の方へ)

SQ2. 貴美術館が写真撮影を認めることになった経緯を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 収蔵品の画像をインターネット等で公開を進めている一環として
2. 鑑賞者のニーズが高いから
3. 美術品の撮影を当たり前を感じる訪日観光客の来場が増えたから
4. 広報や集客に役立ちそうだから
5. SNS上で自館や自館の展覧会の話題を拡げるのに効果的だから
6. その他 (具体的に)

(具体的に)

(6) 貴美術館では、展覧会や作品展示の時に、日本語以外での解説掲示もしくは音声ガイドやICT機器によるガイドを行っていますか。

(○はひとつだけ)

1. 行っている
2. 現在検討中だが、まだ実施していない
3. 今のところ検討していない



下記SQ1～SQ3におこたえください。

→ Q14におすすみ
ください。

SQ1. 多言語での解説掲示を行っている展覧会の種別を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 常設の目玉展示物
2. 常設展
3. 美術館の自主企画や収蔵品を活用した企画展
4. 新聞社等の巡回展や企画会社持ち込みによる企画展
5. その他の企画展

SQ2. 対応言語を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 英語
2. 韓国語
3. 中国語(簡体字、繁体字)
4. 仏語
5. 独語
6. スペイン語
7. その他

SQ3. 多言語化の手法を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 壁面等に掲示してある解説板に掲出
2. 多言語の音声ガイド
3. スマートフォンで利用できる多言語ガイド(音声含む)
4. デジタルサイネージ
5. 多言語のパンフレットやリーフレットの用意
6. その他 (具体的に)

(具体的に)

Q14. 収蔵品の概要を伺います。

- (1) 貴美術館には、収蔵品がありますか。(○はひとつだけ)

2. ない → 29頁のQ15へお進みください。

- (2) 収蔵品点数をご記入ください(作品以外の美術館資料を除く)。

作品数〔 〕点 うち、寄託作品〔 〕点

- (3) 貴美術館には、コミッションワーク(*)がありますか。(○はひとつだけ)

2. ない

※貴美術館の特定の空間での展示のために委託制作された美術品のこと。

- (4) 収蔵品の管理はどのように行っていますか。次のうち最も近いものを選んでください。(○はひとつだけ)

1. 紙媒体(台帳等)でのみ管理

2. 紙媒体(台帳等)を基本とし、一部を電子媒体(データベース等)で管理

3. 電子媒体(データベース等)で管理

- (5) 新規収蔵品について伺います。2014年度～2018年度の間に新規収蔵品(購入・寄贈・寄託)はありましたか。

2. ない

(○はひとつだけ)

SQ1. 2014年度～2018年度までの購入合計点数をおこたえください。〔 〕点
 SQ2. 2014年度～2018年度までの寄贈合計点数をおこたえください。〔 〕点
 SQ3. 2014年度～2018年度までの寄託合計点数をおこたえください。〔 〕点

- (6) 作品の収集に関して貴美術館として定めている収集方針や特徴あるコレクションはありますか。(〇はひとつだけ)

2. 特にない

(具体的に)

- (7) 貴美術館の収蔵品の展覧会以外での公開状況をお知らせください。(あてはまるものすべて)

1. Webサイトに収蔵品の画像付きデータベースを公開している

2. Webサイトに収蔵品リスト(文字データのみ)を公開している

3. 収蔵品のハイライトを紹介するコンテンツを作成し、ウェブサイトで公開している

4. 収蔵品を紹介する図録、ガイドブック等を作成し、販売している

5. 収蔵品を紹介するDVD、ブルーレイを作成し、販売している

6. Googleアートプロジェクト等の収蔵品を公開するインターネット上のプロジェクトに参加している

7. 上記のような収蔵品の公開は行っていない

Q15. 美術館の運営等について伺います。

(1) 貴美術館には友の会組織がありますか。ある場合は、会員数をお知らせください。(〇はひとつだけ)

1. ある → 会員数^(*) 有料会員〔 〕人
2. ない 無料会員〔 〕人
- * 家族会員等の場合も、延べ人数でご記入ください。

(2) 貴美術館の活動にはボランティアや市民サポーターが参加していますか。(〇はひとつだけ)

1. ボランティアや市民サポーター 2. 恒常的ではないが、事業ごとに募る等 3. ない
組織があり、恒常的に活動している 活動実績がある

(3) 貴館では、2018年度、「劇場・ホール・美術館・博物館」との連携・協力を継続的に実施していますか。(あてはまるものすべて)

1. 立地都道府県内のホール・劇場
2. 立地都道府県外のホール・劇場
3. 立地都道府県内の美術館・博物館
4. 立地都道府県外の美術館・博物館
5. 他の劇場・ホール・美術館・博物館と連携・協力はしていない
- } → 下記のSQ1、SQ2におこたえください。
- (4)にお進みください。

(選択肢1、2、3、4回答の方へ)

SQ1. 具体的な連携・協力内容を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 共同広告・共同宣伝の実施、周遊マップづくり
2. チケットの共同販売や共通パスの発行
3. 事業の共同企画・実施
4. 巡回展示(自主事業のみ)
5. 職員の共同研修
6. 連絡会の開催や情報共有
7. その他

(具体的に)

SQ2. 他の「劇場・ホール・美術館・博物館」との連携について、特徴的な活動内容があれば、具体的に記入してください。

- (4) 貴館では、「劇場・ホール・美術館・博物館以外の施設・団体等」と地域における文化芸術推進に関する継続的な連携・協力を実施していますか。 (あてはまるものすべて)

1. 公民館、生涯学習センター、地区センター、コミュニティセンター等の交流系施設
2. 図書館
3. 青少年施設、女性センター、体育館等
4. 地域のアーティスト、文化活動団体
5. アートNPO等
6. まちづくり、市民協働系のNPO法人や市民活動団体
7. 福祉系の団体・施設
8. 子ども子育て系の団体・施設
9. 大学、専門教育機関
10. 小中高等学校の教職者や活動団体
11. 商店会、商工会、商業施設等
12. 観光協会、観光施設等
13. 地元企業
14. その他 (具体的に)

15. 劇場・ホール・美術館・博物館以外の団体・施設等との連携はしていない → 「美術館」の質問は終了です。

(選択肢1～14回答の方へ)

SQ1. 具体的な連携・協力内容を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 宣伝、販売協力
2. 事業の共同企画・実施
3. 事業の委託
4. 事業の受託
5. 運営委託、運営サポート
6. 専門家や指導者の派遣
7. 専門家や指導者の招聘
8. 調査研究
9. 連絡会の開催や情報共有
10. インターンの受入
11. その他 (具体的に)

SQ2. 「劇場・ホール・美術館・博物館以外の施設・団体等」との連携で、特徴的な活動内容があれば、記入してください。

(具体的に)

「美術館」に関する質問は以上で終了です。 → 貴施設が、「4.練習場・創作工房(アーティスト・イン・レジデンス施設含む)」との複合施設になっている(練習場等が、付帯施設ではなく、独立した施設として別途運営されている)場合は31頁、そうでない場合は、38頁へお進みください。

4.練習場・創作工房

(アーティスト・イン・レジデンス施設を含む)

練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の管理運営者にご記入いただきます。

Q16. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の施設概要について伺います。

(1) 施設内容と室数

施設の内容(A～D)ごとに、貴施設における有無をお知らせください。(○はそれぞれひとつずつ)
ある場合は、室数、もしくは、対応人数をご記入ください。

A. 演劇・舞踊	B. 音楽スタジオ	C. 創作工房
1. あり []室	1. あり []室	1. あり []室
2. なし	2. なし	2. なし

D. レジデンス施設
1. あり 2. なし 〓 []人対応 SQ1. レジデンス施設は敷地内にありますか。(○はひとつだけ) 1. 敷地内にある 2. 敷地外にある 3. 両方にある

(2) 貴施設にある付帯施設をお知らせください。(あてはまるものすべて)

- | | | |
|----------|---------------|----------------|
| 1. ホール | 2. ギャラリー | 3. 大道具室・楽器庫・倉庫 |
| 4. 工房(*) | 5. 会議室・多目的ルーム | 6. 資料室・図書室 |

* 大道具・小道具、衣装等を作るための専用スペース。

(3) 開館日数、利用日数(宿泊利用はのぞく)

2018年度の年間開館日数 []日 利用日数 []日

※開館日数とは、365日から休館日、保守点検日、施設改修等で利用できない日を除く日数。

※利用日数とは、全日利用に限らず、利用のあった日数。

(4) 開館時間(宿泊利用はのぞく)

[]時 []分 ～ []時 []分

※最長の時間をご記入ください

※例えば午後4時は「16時」と、24時制でご記入ください。

Q17. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の運営体制について伺います。

(1) 貴施設の館長(責任者)について伺います。

① 館長(責任者)の雇用形態は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 常勤 2. 非常勤

② 職種は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 芸術系専門職 2. 行政職 3. 教育職 4. 経営職 5. その他

③ 公募ですか。(○はひとつだけ)

1. 公募 2. 非公募

(2) 現在、貴施設の運営に携わるスタッフ数(館長や管理職も含む)を伺います。

下記の要領で、職種別、雇用形態別にお知らせください。

※期間限定で特定の事業にのみ従事するスタッフは除きます。

※兼務の場合は、次の要領で按分してください。

複合施設など他施設と兼務の場合は、施設ごとの業務量に応じて按分し、施設運営に携わるスタッフ数を記入。
(例えば、創作工房と図書館の複合施設で2施設の総務を兼務するスタッフが1名で業務量が半々なら0.5人とカウント)

※非常勤の場合は、次の要領で常勤換算してください。

パートタイムや非常勤スタッフの場合は、勤務日数・勤務時間から常勤職員の通常勤務(日数・時間)に換算。
常勤換算したおおよその人数を記入。

※按分や常勤換算はおおよそで結構です。結果は、小数点以下1位までとしてください。

合計
人

うち正規職員〔 〕人^(*)

*直営の場合は地方公共団体職員、その他は指定管理者等の正社員・正規職員

(3) 貴施設には、芸術監督、プロデューサー等の文化・芸術領域の専門職が存在していますか。

1. いる 2. いない



	1. 芸術監督 2. プロデューサー 3. その他〔具体名称〕	氏名	1. 公募 2. 非公募	1. 常勤 2. 非常勤	館長と兼務 の場合、✓	在任期間
A	1. 2. 3. []		1. 2.	1. 2.		年
B	1. 2. 3. []		1. 2.	1. 2.		年
C	1. 2. 3. []		1. 2.	1. 2.		年

(4) 貴施設には、職員に依らない管理運営手段がありますか(例えば、利用者の自主管理組織等)。(○はひとつだけ)

ある場合には、内容をお知らせください。

1. ある (具体的にご記入ください。)
2. ない

Q18. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の施設運営費について伺います。

(1) 直営の場合は



下記にご回答ください。

(2) 指定管理の場合は



次頁(2)にご回答ください。

(1) 直営施設の施設運営費

貴施設の運営費について、2018年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、貴施設運営に係る運営費をご記入ください。

※支出合計と収入合計の金額が一致するようにしてください。

＜収入金額＞

施設運営費 収入内訳	2018年度決算
一般財源	千円
特定財源	
補助金・助成金	千円
施設使用料・入場料収入等 (*1)	千円
その他	千円
合計	千円

*1 施設使用料等を一般財源とせず、特定財源で施設運営費に充当している場合にご記入ください。

＜支出金額＞

施設運営費 支出内訳	2018年度決算
事業費 (*1)	千円
人件費 (*2)	千円
運営管理費 (*3)	千円
その他 (*4)	千円
合計	千円

*1 展覧会や公演、教育普及等の事業費、広報宣伝費等。

*2 施設運営費に計上される人件費があればご記入ください。

*3 施設の運営全般にかかる経費(接遇、施設全体の広告宣伝費)、施設の保守・点検、清掃、警備、光熱水費、備品購入費等。
※委託の場合は委託費を含みます。

*4 事業費・人件費・運営管理費のいずれにも該当しない支出を合算してください。

前頁Q17(2)でご記入のスタッフ(館長や管理職も含む)の内、施設運営費に含まれない、地方公共団体職員の人件費があれば、ご記入ください(概算推計で可)。

※複合施設で兼務の場合はQ17(2)のご回答に準じて按分した人数に応じた金額をご記入ください。

※施設運営費に含まれない地方公共団体職員等的人件費

千円

(2) 指定管理施設の施設運営費

貴施設の運営費について、2018年度決算額を記入してください。該当金額がない欄は空欄のままにしてください。

複合施設で他の施設と合算の場合、施設ごとの事業量等に応じて按分し、貴施設運営に係る運営費をご記入ください。

施設運営費 収入内訳	2018年度決算
<設置者からの収入>	
指定管理料	千円
事業補助金 (*1)	千円
事業受託費 (*2)	千円
その他 (*3)	千円
<自主財源>	
利用料金収入 (*4)	千円
事業収入	千円
設置者以外からの助成金・協賛金・寄付金	千円
その他	千円
合計	千円

*1 指定管理料以外に設置者からの事業補助金がある場合にご記入ください(指定管理者である文化財団本部に対する事業補助金で当該施設の事業を実施する場合を含む)

*2 設置者から事業の委託を受け、その費用を指定管理料とは別に事業受託費として受け取っている場合に記入ください。

*3 事業補助金、事業受託費以外の費目で、指定管理料とは別に設置者から受け取っている収入がある場合にご記入ください。

*4 利用料金制を採っている場合にご記入ください。

※ 複合施設の場合などで、貴施設(附属施設を含む)以外の施設運営による収入(自主財源)を貴施設の施設運営に充当している場合は、その金額も含めて左欄にご記入の上、右欄にチェックしてください。

※指定管理料の内訳が明示されている場合は、下欄にご記入ください。(内訳明示がなければ無記入でかまいません)

管理運営費	千円
事業費	千円
人件費	千円
その他	千円

<支出金額>

施設運営費 支出内訳	2018年度決算
事業費 (*1)	千円

*1 展覧会や公演、教育普及等の事業費、広報宣伝費など

※ 事業費に該当する金額がなく空欄の施設にだけ伺います。

その理由として、次のうち最も近いものをお選びください。(○はひとつだけ)

1. 当該施設では事業を実施していない
2. 事業は設置主体が行うので、指定管理者の予算に含まれていない
3. その他〔 〕

Q19. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の運営について伺います。

(1) 貴施設では一般への施設貸出を行っていますか。(○はひとつだけ)

1. 行っている

2. 行っていない → (2)にお進みください。



SQ1. 利用規約について、貴施設において実施しているものがあれば、すべて選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 減免制度

2. 優先貸出

3. 長期使用

4. 利用時間延長

5. 定期利用

※優先貸出とは、一般の申し込みに先立って優先的に利用予約を受け付ける等の優先を認めること。

※長期使用とは、長期の創作やリハーサル等のために概ね1週間以上の長期にわたって貸し出しを認めること。

※利用時間延長とは、開館時間外の利用を認めること(搬入搬出を含む)。

※定期利用とは、例えば毎週水曜日、毎年6月等のように特定期間の定期利用を認めること。

(2) 貴施設はアーティスト・イン・レジデンス施設として運営していますか。(○はひとつだけ)

1. している

2. していない → Q20にお進みください。



SQ1. アーティスト・イン・レジデンスの対象ジャンルを選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 舞台芸術系

2. 美術系

3. その他 []

SQ2. 貴施設での2018年度の受入人数は何人でしたか。

[] 人



SQ3. 貴施設では、レジデンスを利用するアーティストを公募していますか。(○はひとつだけ)

1. 全て公募

2. 公募と招聘

3. 全て招聘

SQ4. 貴施設では、アーティストに対してどのような支援をしていますか。(あてはまるものすべて)

1. 施設の提供のみ

2. 渡航費・制作費・滞在費の助成

3. 制作活動への人的な支援

4. その他

(具体的に)

--

SQ5. 下記の中で作品制作や滞在中の地域での活動に関してレジデンス公募の条件やレジデンス・アーティストへの依頼事項にしていることはありますか。(あてはまるものすべて)

1. 成果発表

2. オープンスタジオ、公開制作、公開練習

3. 地域との交流活動

4. その他

(具体的に)

--

5. 特に公募の条件にしたり、依頼していることはない

Q20. 練習場・創作工房、アーティスト・イン・レジデンス施設の自主事業等について伺います。

(1) 貴施設における自主事業(公演・展覧会や教育普及、支援活動等)の担い手は次のいずれに該当しますか。(○はひとつだけ)

1. 施設の管理運営者が自主事業も担っている 3. 自主事業は実施していない
2. 施設の管理運営者とは別(*)

「練習場・創作工房」に関する質問は終了です。38頁へお進みください。



SQ1. 事業の担い手は次のいずれですか。(○はひとつだけ)

1. 設置主体
2. 1以外 [名称]

* 下の(2)以降の設問に施設の管理運営者が回答できない場合は、事業の担い手に問い合わせるか回付してください。
施設の管理運営者が事業も担っている場合、Q18の(1)または(2)にご記入の事業費で実施したものについておこたえください。
自主事業には、設置主体からの事業補助金により、指定管理者である文化財団等の本部が実施したものを含まず。

(2) 貴施設では、2018年度に自主事業(貴施設の主催事業)、または設置主体からの受託事業を実施しましたか。

(○はひとつだけ)



1. 実施した 2. 実施していない 「練習場・創作工房」に関する質問は終了です。
38頁へお進みください。

(3) 自主事業等の件数

2018年度に実施した自主事業、及び受託事業の合計件数を、ジャンル別にお知らせください。

1. 演劇 ダンス・舞踊	2. 音楽	3. 美術	4. その他	合計
件	件	件	件	件

※不明の場合は無記入のままにしてください

(4) アマチュア活動支援事業

貴施設では、2018年度に自主事業としてアマチュア活動支援事業^(*)を実施しましたか。(○はひとつだけ)

* 技術指導など、練習場・創作工房を活用するアマチュアのスキルアップを図る事業のこと。

1. 実施した [] 件 2. 実施していない

(5) 特徴ある自主事業

貴施設で2018年度に実施した事業のうち、特徴あるものがあればお知らせください。

<特徴ある事業A>

事業名〔	〕	実施時期〔	〕
内容			

<特徴ある事業B>

事業名〔	〕	実施時期〔	〕
内容			

「練習場・創作工房」に関する質問は終了です。38頁にお進みください。

5. 共通設問

施設内容に関わらず、
本調査対象施設の管理運営者全員にご記入いただきます。

Q21. 貴施設におけるIT活用について伺います。

(1) 貴施設はWebサイトを設けていますか。(○はひとつだけ)

1. 設置主体または指定管理者と同一のドメイン上にWebサイトを設けている
2. 設置主体と同一のドメイン上に独立したWebサイトを設けている(サブドメインでの展開を含む)
3. 設置主体とは別のドメインを取得し、独立したWebサイトを設けている
4. 外部のSNSサイトやブログサイト上にページ、コーナーを掲載している
5. Webサイト、ページは設置していない



下記SQ1～SQ2に
おこなってください。

<上記質問で選択肢2、3に回答された方へ>

SQ1. 貴施設のWebサイトはスマートフォンに対応していますか。(○はひとつだけ)

1. スマートフォンでアクセスしても、PCと同じ画面しか表示されない(スマートフォン対応をしていない)
2. スマートフォン用の特別サイトを作成している
3. スマートフォンでアクセスしたユーザーには、スマートフォン用画面が表示されるようになっている

SQ2. 貴施設のWebサイトは日本語以外の言語に対応していますか。(○はひとつだけ)

1. 対応している
2. 対応していない → (2)にお進みください。



多言語に対応されている方は、下記のSQ3、SQ4におこなってください。

SQ3. 対応言語を教えてください。(あてはまるものすべて)

1. 英語
2. 韓国語
3. 中国語(簡体字、繁体字)
4. 仏語
5. 独語
6. スペイン語
7. その他

SQ4. 多言語化しているWebサイト上のコンテンツをおしらせください。(あてはまるものすべて)

1. トップページ
2. 施設概要
3. 来館案内
4. 公演・展示イベントスケジュール
5. チケット・インフォメーション
6. 公演・展示・収蔵品等の紹介コンテンツ(インタビュー、メイキング等を含む)
7. 外国人向けの外国語で制作した特集コンテンツ

(2) 貴施設は貸しスペース(ホール、練習室、市民ギャラリー等)の空き情報をインターネットで提供していますか。(○はひとつだけ)

1. している
2. していない → (3)にお進みください。



SQ1. 予約はできますか。(○はひとつだけ)

1. 予約できる
2. 登録者は予約できる
3. できない

(3) 貴施設はtwitter、FacebookといったSNSサービスを活用していますか。(あてはまるものすべて)

1. twitter
2. Facebook
3. Instagram
4. LINE
5. その他〔

〕

(4) 貴施設はインターネット上で動画による情報発信を行っていますか。(○はひとつだけ)

1. 行っている
2. 実施を検討中
3. いまのところ実施する予定・計画はない



SQ1. 動画発信をどのようなシステムで実施していますか。(あてはまるものすべて)

1. YouTubeを活用
2. 利用しているSNSサービスを活用
3. その他〔

〕

- (5) 貴施設の自主事業は、入場券や公演チケットをインターネットで購入することができますか。(○はひとつだけ)
(美術館等で期間前に販売する割引入場券や入場整理券等含みます)

1. 申し込みから購入(決済)までできる
2. インターネットで申し込みはできるが、購入(決済)はできない
3. インターネットでは買えない

→ SQ1. 購入(決済)においてはどのようなサービスを活用していますか。(あてはまるものすべて)

1. 自館で開発したシステムを利用し、自館で直接販売している
2. チケット発券会社の持つシステムをレンタルし、自施設用にカスタマイズして、自施設で直接販売している
3. インターネット販売サービスでチケットを委託販売している

Q22. 貴施設における職員の研修について伺います。

- (1) 施設職員の企画制作能力の向上に関わる研修をやっていますか。(あてはまるものすべて)
(救命救急研修や避難訓練研修等は除きます)

1. 自施設で企画し、実施している

↳ SQ1. 具体的にどのような企画ですか。

SQ2. その企画には他の施設のスタッフが参加していますか。(○はひとつだけ)

1. はい
2. いいえ

2. 他のプログラムに派遣している

↳ SQ3. 具体的にどのようなプログラムに参加させていますか。(あてはまるものすべて)

1. 地域創造が主催するもの
2. 全国公立文化施設協会、公共劇場舞台技術者連絡会、全国美術館会議等の業界団体が主催するもの
3. 自治体が主催するもの
4. 他の公立文化施設が主催するもの
5. 大学等の教育・研究機関が主催するもの
6. 財団、NPO等の民間の非営利団体が主催するもの
7. その他〔

〕

3. 自施設では企画もしていないし、他のプログラムに参加していない

↳ SQ4. その理由はどのようなものですか。(あてはまるものすべて)

1. 企画制作のスキルアップはオン・ザ・ジョブ・トレーニングが基本で、研修は必要と感じていないから
2. 研修は必要だと思っているが、自分たちでは企画できないから
3. 適切なものがあれば参加したい(させたい)と思っているが、どこに参加させればいいのか分からないから
4. 研修を自館で企画するための予算がないから
5. 研修に参加させるための予算がないから
6. 研修に行かせるには人手が足りない状況だから
7. 過去に研修に参加した(させた)が、役に立たなかったから
8. その他〔

〕

Q23. 貴施設における事業評価について伺います。

(1) 貴施設では、事業評価を行っていますか。(○はひとつだけ)

1. 行っている

2. 行っていない → Q24にお進みください。



SQ1. 次の中で、実施しているものはありますか。(あてはまるものすべて)

1. 管理運営者による自己評価
2. 設置主体による評価
3. 第三者による外部評価
4. 来場者によるアンケート評価
5. 関連観光需要額の算出(事業来場者が地域で消費した飲食、宿泊、交通費や土産代等の推計)
6. 産業連関表による経済波及効果の算出
7. 社会的インパクト評価
8. その他〔具体的に 〕

(2) 事業評価が役に立っていると思われるものはありますか。(あてはまるものすべて)

1. 評価のプロセスを通じて職員の意識改革をはかることができた
2. 利用ニーズの把握や掘り起こしができた
3. 設置主体との関係が改善した
4. 市民(利用者)との関係が改善した
5. 対外的に説明できる客観的な資料ができた
6. 課題が明らかになった
7. 目標設定が可能になった
8. 成果がアピールできるようになった
9. 事業の拡大、予算の確保に繋がった

10. その他

(具体的に)

(3) 事業評価における課題として該当するものを選んでください。(あてはまるものすべて)

1. 手間がかかりすぎる
2. 指定管理期間があるため、中長期的な視点にならない
3. 設置主体から求められる評価が入場者数や売上等の定量指標に偏っている
4. アウトリーチ等の非営利事業の定性評価の方法がない
5. 指定管理期間があるため、設置主体との相互理解が深まらない
6. 第三者委員会の人材が限られている

7. その他

(具体的に)

Q24. 貴施設の訪日観光客への対応状況をお伺いします。

- (1) いま、訪日観光客対応では、各種館内サービスの具体的な使い方や一時的な注意書き、レストランで提供している食材の内容等、細かな点での外国語での情報提供がどこまでできているかが課題となっています。貴施設では、こうした点での外国語での情報提供にどの程度対応されていますか。(〇はひとつだけ)
1. 対応できている
 2. 一部対応できているが、まだ不十分である
 3. 対応できていない
 4. 訪日観光客はあまり来館しないので対応の必要性を感じていない
- (2) 貴施設では訪日観光客への対応のため外国語が話せるスタッフやボランティアを採用していますか。(あてはまるものすべて)
1. 外国語の話せるスタッフを採用している
 2. スタッフへの外国語研修をしている
 3. ボランティアを登用している
 4. 特に対応していない
- (3) 貴施設では、訪日観光客向けの外国語によるガイドブックや、収蔵品のハイライトを紹介する図録等を作成・販売していますか。(〇はひとつだけ)
1. 作成・販売している
 2. 特別な企画等の時に作成・販売している(したことがある)
 3. 訪日観光客向けのガイドブック、図録等は作成・販売したことはない

Q25. 貴施設のキャッシュレス対応の状況をお伺いします。

- (1) 貴施設のチケットセンターではキャッシュレス決済に対応していますか。(〇はひとつだけ)
1. 対応している
 2. 近いうちに対応する計画がある
 3. いまのところ対応する予定はない

Q26. 貴施設で、大規模災害に対応していることを教えてください。

- (1) 貴施設は、災害時の避難場所として指定されていますか。(あてはまるものすべて)
1. 指定緊急避難場所(災害対策基本法 第49条の4)となっている
 2. 指定避難所(災害対策基本法 第49条の7)となっている
 3. 一時集合場所(各地方自治体の条例等による)となっている
 4. 帰宅困難者向けの一時滞在施設(各地方自治体の条例等による)となっている
 5. 法令・条例上の避難場所としては指定されていない
- (2) 貴施設では、2013年の建築物の耐震改修の促進に関する法律等の改正以降、耐震診断の実施と耐震化の実施(2014年施行の建築基準法施行令改正に伴う天井脱落対策及びエレベーター等の脱落防止対策を含む)をしていますか。(〇はひとつだけ)
1. 耐震診断を実施し、耐震性が確認されている
 2. 耐震診断を実施し、基準に合わない部分が発見されたため、その後改修工事を行い、補強した
 3. 耐震診断を実施し、基準に合わない部分が発見されたため、現在、耐震工事を実施もしくは計画中である
 4. 耐震診断を実施し、基準に合わない部分が発見されているが、まだ耐震工事の具体計画が立てられていない
 5. 建築物の耐震改修の促進に関する法律等の改正に対応した耐震診断ができていない
 6. 当施設は、建築物の耐震改修の促進に関する法律で耐震診断が必要な施設に指定されていない

Q27. 公益財団法人が管理運営する施設について伺います。

※貴施設が公益財団法人の運営でない場合、回答は不要です。 → Q28へお進みください。

運営や事業において、公益財団法人として留意している点がありますか。具体的におこたえください。

(例: 寄付を募るチャリティイベントを実施、専門家を評議員として登用、公益事業の広報、情報公開、その他社会的信用に応える事業等)

Q28. ご意見やご要望についてお聞かせください。

地域創造へのご意見やご要望等ありましたらお書きください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。